

平成27年10月

火災保険改定のご案内

いつも損保ジャパン日本興亜をご利用いただきまして誠にありがとうございます。
平成26年7月に火災保険の参考純率が改定されたことを受け、損保ジャパン日本興亜の火災保険も平成27年10月以降保険始期の契約について、商品改定を実施いたしました。
このチラシでは、商品改定の背景等についてご説明いたしますので、内容をご確認いただきますとともに、引き続きご契約を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

商品改定の背景

(1) 自然災害や水濡れ損害による保険金の支払が近年、増加しています。

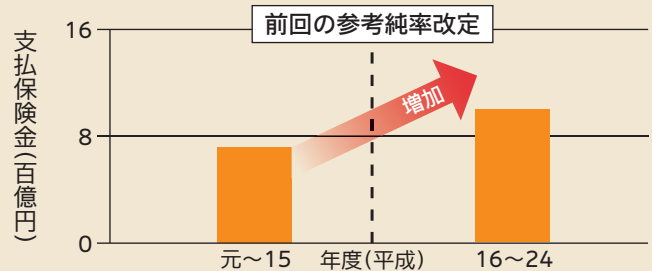
自然災害の増加

自然災害による保険金の支払が増加しています。

- (a) 台風災害による保険金の支払が、増加しています。
- (b) 台風以外の風雹災や雪災による保険金の支払も、増加しています。



台風災害による支払保険金の推移

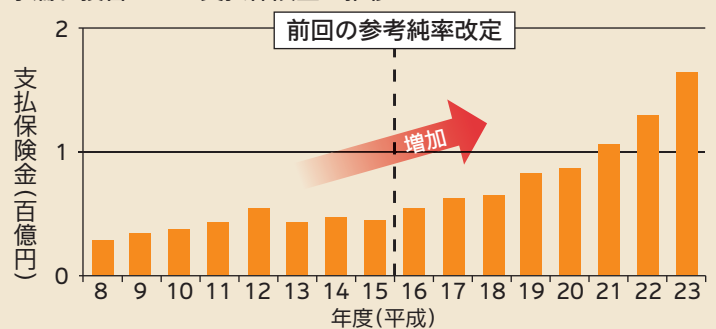


水濡れ損害の増加

冬季の凍結や老朽化などで水道管等に生じた事故による水濡れ損害の保険金の支払が増加しています。



水濡れ損害による支払保険金の推移



(2) 地球温暖化により自然災害の将来予測に不確実な要素が増しているとの研究成果が発表されました。

IPCC*の評価報告書等、近年の地球温暖化研究の成果によると、自然災害の将来予測については不確実な要素が増していることが明らかとなってきたことから、火災保険においても長期のリスク評価が難しくなりました。

* IPCC(Intergovernmental Panel on Climate Change; 気候変動に関する政府間パネル)
気候変化の影響や対応策等の評価を全世界的な規模で行うことにより、政策決定者に判断材料や根拠を提供することを目的として設立された政府間会議。



参考純率とは

損害保険料率算出機構が算出する「純保険料率」(保険金の支払いにあてられる部分)のことです。参考純率は、損保ジャパン日本興亜をはじめとする多くの会員損保会社のデータを用いて算出を行っていることから、個社単独のデータから算出した純保険料率よりも精度が高いものです。

商品改定の内容

表面の「商品改定の背景」を主な理由として、損保ジャパン日本興亜の火災保険についても、次の改定を実施いたしました。何卒ご理解いただきますよう、お願い申し上げます。

保険料の改定

保険料の改定を実施いたしました。改定率は、お客さまのご契約の内容（保険の対象、所在地、構造、用法、補償内容等）によって異なります。

保険期間10年制限

ご契約いただける保険期間を最長10年間とさせていただきます。
※個人用火災総合保険等は、従来、最長36年間までご契約いただくことができました。

約款の改定

分かりやすさを向上させるため、約款の改定を実施いたしました。
※風災や雪災等の事故により損害保険金をお支払いする場合の記載内容 等

▶ 個人用火災総合保険、マンション総合保険等については、商品固有の改定も実施しております。商品固有の改定内容につきましては、それぞれの満期チラシをご覧ください。

(参考)平成27年10月 個人用火災総合保険のその他の主な改定内容

(1) お客さまのご要望に沿った補償やプランがさらに選びやすくなりました。

自己負担額「なし」「1万円」をお選びいただけるプランの拡大

一部の特約の引受保険期間を5年から10年に延長

臨時費用保険金限定特約の新設

水災支払方法縮小特約の新設

(2) お客さまの利便性を向上する特約やサービスを新設しました。

Web約款の導入

借家人賠償責任総合包括契約に関する特約の新設



●このチラシは火災保険の改定概要を説明したものです。詳しい内容につきましては、「ご契約のしおり」またはパンフレットをご覧ください。
●ご不明な点は、取扱代理店または損保ジャパン日本興亜までお問い合わせください。



SOMPO ホールディングス
損害保険ジャパン日本興亜株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
Tel:03-3349-3111
<公式ウェブサイト> <http://www.sjnk.co.jp/>

お問い合わせ先